



ストップ・ザ・

こども

ひがい

子供のSNS被害

～ 考えよう 画面の向こう側 私たちの未来～

SNSを通じて多くの子供たちが性被害等にあります。

STOP! SNSでのこんなやりとりはダメ! 犯罪等に巻き込まれるかも!!

1 SNSに「家出したい」と書き込んだら…

親と喧嘩した! 家にいたくない!
マジで家出したいよ～!



STOP!

そんな家からは出ちゃったほうがいいよ!

ボクの家遊びにおいでよ!!

SNSで知り合った人と

会ってはいけません!!

犯罪者はいい人のふりをして子供たちに近づきます。

2 同級生の個人情報をSNSに載せた…

なんか、最近あいつさ、
調子乗ってない?

STOP!

わかる～(#^ω^)

SNSにあいつの名前とか住所
載せて晒しちゃおうぜ!

うん、あいつの自撮りも晒しちゃおう!

ネットに住所や名前などの個人情報を

載せてはいけません!!

他人の個人情報等をネットに流出すると犯罪になることも

3 彼氏から変なお願いがきて…

ハダカの写真撮って送って♪

えっ!?

俺のこと好きなら送ってよ!

絶対、誰にも見せないから!!

STOP!

ホント…誰にも見せないでね?

自分や友達の画像を

送ってはいけません!!

ネットに流出した画像は全てを回収・削除できません。

4 先輩から大麻を買うよう誘われた…

なあ、安くしとくから『野菜』買わない?

先輩、お久しぶりです!『野菜』ってなんすか?

大麻

えっ!? それって色々とかやばくないですか?

大丈夫! 何の害もないし、バレなきゃ
平気だから!

STOP!

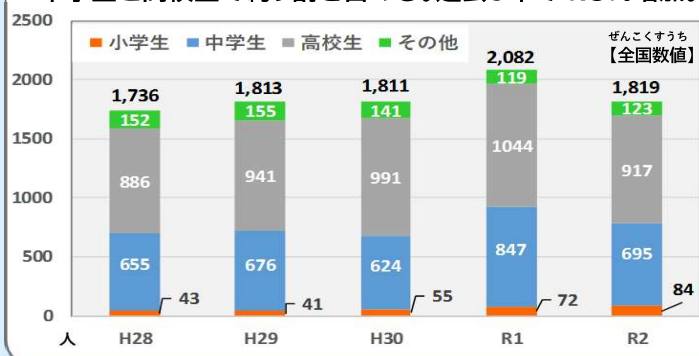
大麻の所持は犯罪です!

大麻の誘いに負けない3つの行動

「断る」「離れる」「相談する」

SNSに起因する学職別の被害児童数の推移

中学生と高校生で約9割を占める。過去5年で4.8%増加。



児童が自らを撮影した画像に伴う被害児童数の推移

中高生が大半を占め、令和2年は小学生が前年比で増加。



サイト別の被害児童数

「Twitter」に起因する被害児童数が約4割を占めるとともに、「Instagram」に起因する事犯の被害児童数が増加。



困った時の相談窓口

★ 少年相談コーナー ★

相談時間 平日8:30~17:15
(夜間・土・日・祝日は警察本部の警察官が対応)

少年サポートセンター水戸 TEL 029-231-0900

少年サポートセンターつくば TEL 029-847-0919

Eメール: keishonen@pref.ibaraki.lg.jp

必ずフィルタリングを!

被害児童の約9割がフィルタリングを利用していませんでした。青少年インターネット環境整備法では販売店等に対し、青少年が携帯電話を使用する際の年齢確認やフィルタリングの説明を義務付けています。保護者は説明をしっかりと聞き、年齢や利用状況に応じたフィルタリングを設定しましょう。



ペアレンタルコントロールの活用を!

ペアレンタルコントロールとは、保護者がお子さんのスマホ利用を適切に管理するための機能です。ペアレンタルコントロール機能を利用することで、お子さんのネットへのアクセス履歴やアプリの利用状況等を把握することができるほか、特定のWebサイトへのアクセス、アプリ等の利用時間、課金等を制限できます。

【ペアレンタルコントロールの例】

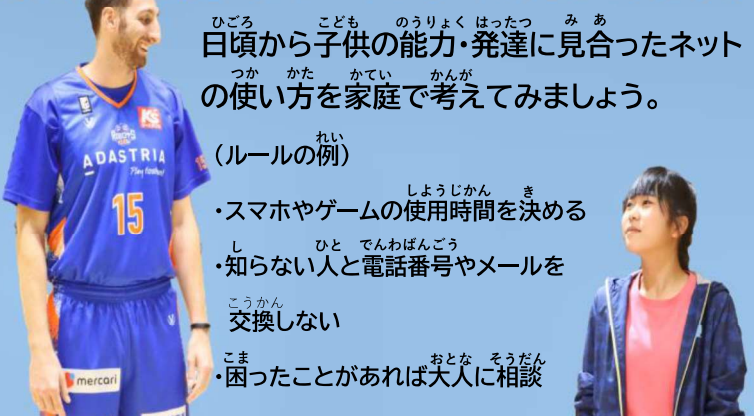


家庭で親子のルールづくりをしましょう

日頃から子供の能力・発達に見合ったネットの使い方を家庭で考えてみましょう。

(ルールの例)

- ・スマホやゲームの使用時間を決める
- ・知らない人と電話番号やメールを交換しない
- ・困ったことがあれば大人に相談



茨城ロボッツ選手出演の動画公開中!

茨城ロボッツの選手達が、スマホの向こう側にいる子供たちに贈るメッセージ動画をYouTubeの茨城県警察公式チャンネルに公開!!

ストップ・ザ・子供のSNS被害

検索

STOP! 子供のSNS被害!!



YouTubeの茨城県警察公式チャンネルにて公開中!